

STOP!! 通電火災

通電火災を正しく「知る」ときちんと「防ぐ」



停電

地震や台風等に伴い「**停電**」が発生!!
復旧して再び「**通電**」する時に発生する
電気機器や電気配線からの火災、
それが「**通電火災**」です。

通電



通電火災はなぜ起きるの??

- ① 電気ストーブ、観賞魚用ヒーター、オーブントースター等の電熱器具を使用中に**地震**が発生し停電が起きた場合、揺れの影響で可燃物がヒーター部分に接触した状態になることがあります。接触した状態のまま停電が復旧し、再び通電すると可燃物が過熱され出火する可能性があります。
- ② **豪雨**や**台風**等により停電が起きた場合、風雨により雨水が浸入し、電気機器や電気配線が水に浸かったり、水に濡れた状態になることがあります。水に濡れた状態のまま停電が復旧し、再び通電するとショートして出火する可能性があります。



※阪神・淡路大震災では神戸市内で157件の建物火災が発生しましたが、
原因が特定できた55件のうち33件が通電火災によるものでした。(神戸市消防局ホームページより)

どんな対策をすればいいの??

- ① 停電中は電気機器のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。
- ② 停電中に自宅等を離れる際は、**ブレーカーを落とす**こと。
- ③ 再度通電した際には、漏水等により電気機器が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから電気機器を使用すること。
- ④ 建物や電気機器に外観上の損傷がなくとも、壁内配線の損傷や電気機器内部の故障により、再通電から長時間経過した後、火災に至る場合があるため、煙の発生等の異常を発見した際は、直ちにブレーカーを落とし、消防機関に連絡すること。



地震発生時、停電による暗闇の中で「**ブレーカーを落とす**」ことは難しいかもしれませんが…そんな時に地震の揺れを感知して自動的にブレーカーを落としてくれる「**感震ブレーカー**」という便利グッズがあることをご存じですか?さまざまな種類の商品が販売されています。通電火災を予防し、家族の安心・安全を守るため「**感震ブレーカー**」の設置について、ぜひご検討ください。

※「感震ブレーカー」については徳島市のホームページでも紹介しています。

安心あふれるまち「とくしま」

徳島市消防局

(お問い合わせ) 予防課 656-1193

TOKUSHIMA CITY FIRE DEPT.